持続可能な成長を支える基盤

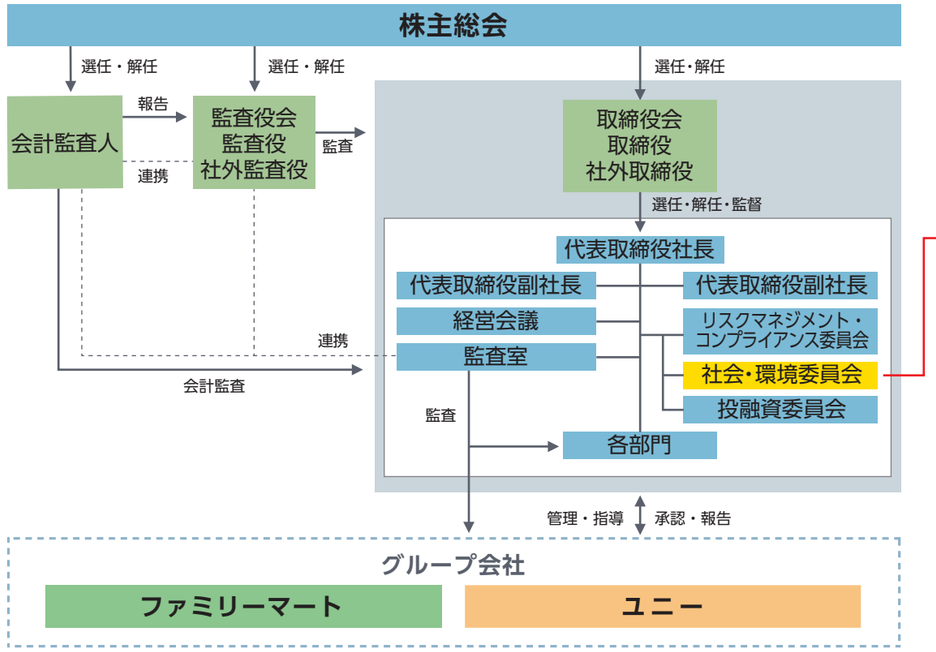
ユニー・ファミリーマートグループは持続可能な社会の形成に向けて、直面する社会課題にグループ全体で向き合い、統制の取れた活動と適切な情報開示を通じ経営の透明性を高めていくことが重要と考えています。

コーポレート・ガバナンス

ユニー・ファミリーマートグループは、ユニー・ファミリーマートホールディングスを持株会社とする純粋持株会社制のもと、42 の子会社、関連会社および共同支配企業 28 社の計 70 社が、それぞれ CVS 事業、GMS 事業、およびその周辺事業等を展開しています（2017年2月末時点）。透明度の高い経営システムの構築および監査役による経営監視を主軸とした企業統治体制の構築を目指し、監査役（監査役会）設置会社制度を採用しています。取締役は独立性の高い社外取締役 2 名を含めた 11 名を選任し、取締役会による経営監督の実効性と意思決定の透明性強化・向上を図っています。また、社外監査役を 4 名選任し、監査役による監視・監督機能の充実と意思決定の透明化を確保しています。

経営統合により 2016 年 9 月から始動した体制の実効性を高めるために、原則毎月 1 回開催される取締役会に対して、取締役および監査役による評価も行っています。2016 年度においては、取締役会が概ね適切に機能しており、実効性の確保が確認できた一方、経営陣幹部の選解任について社外取締役の関与を深める必要性や取締役会に提供される資料の改善要望等の指摘もありました。当社の取締役会では、こうした評価も参考にして、実効性の向上に努めています。

● ユニー・ファミリーマートグループのコーポレート・ガバナンス体制図



コーポレートガバナンス報告書　http://www.fu-hd.com/ir/management/governance/

CSR 推進体制

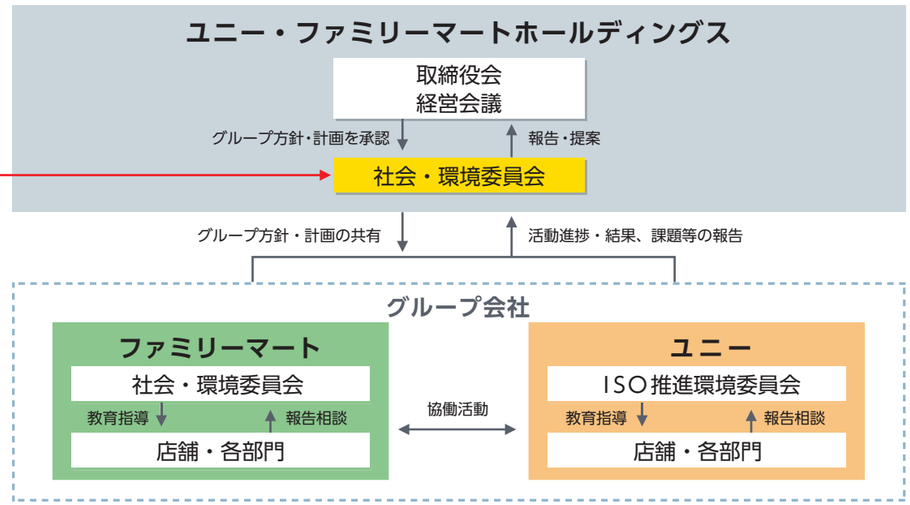
ユニー・ファミリーマートホールディングスでは、経営の基盤となるコーポレート・ガバナンスの確保を目的とした専門部署を設置、またリスク管理体制の整備と倫理・法令遵守体制の強化を目的とした「リスクマネジメント・コンプライアンス委員会」を設置しています。そして、社会面・環境面での取り組みに関する報告や課題の審議等を行うため、「社会・環境委員会」を設置し、両委員会ではともに取締役が委員長を務めています。

CVS 事業の中核であるファミリーマートでは「リスクマネジメント・コンプライアンス委員会」「社会・環境委員会」、GMS の中核であるユニーでは「リスクマネジメント委員会」「ISO 推進環境委員会」を設置しており、それぞれの事業が抱えるリスクの管理やコンプライアンス上の課題、社会面ならびに環境面での課題について、事業に与える機会とリスクの観点から審議、対応を進めています。また、社会・生活インフラとして機能を果たす小売業として、お客様、地域社会に社会的使命を果たすため、平常時のみならず大規模災害などの発生に備えて、危機管理規程はもとより事業継続計画等を整備し、緊急時に速やかに情報収集を行い、機動力ある対応ができるようにしています。各グループ会社には、グループの事業活動に影響を及ぼすおそれのある経営上の重要事項等、当社へ報告を要する事項を定め、事前承認と報告を義務付けており、適宜対応しています。

このようなプロセスに対して、代表取締役社長直轄の監査室が内部監査を実施しています。また各グループ会社の監査役と情報共有を密に行い、グループ全体としてのガバナンス強化や、リスクコンプライアンス、社会面および環境面での課題解決に向けた取り組みが適切に実施されているか定期的に確認を行っています。

さらには、当グループでは、「グループ行動規範」や「コンプライアンス規程」等を制定し、すべての取締役、執行役員および従業員に、これらの規程等を遵守することを求めています。万が一これらの規定等に反する行為があれば、その状況について社内外の専門家に相談・通報ができる「内部情報提供制度」を設置しており、「しない・させない・見過ごさない」をスローガンに運用を行っています。このように社内外に窓口を設置することで、自らのコンプライアンス違反の行為を是正するとともに未然防止を目指しています。

● ユニー・ファミリーマートグループの CSR 推進体制図



● コンプライアンスの状況（内部情報提供制度を利用して寄せられた案件数、カテゴリー別）

不正・違法・ルール違反の疑い	14 件
労働契約、就業・労働時間等に関する相談	8 件
商品・品質に関する相談	0件
職場環境、行動・言動に関する相談	53件

ハラスメント	7 件
その他	14 件
合計件数	96 件

集計期間：2016 年 9 月～ 2017 年 8 月